

竜王東小学校 学校関係者評価書

平成31年 2月 5日 (火)

竜王東小学校 学校関係者評価委員会作成

学校関係者評価委員会

実施日：平成31年 2月 5日 (火) 午後3時～

会 場：竜王東小学校 校長室

参加者：(学校関係者評価委員)

学校評議員：小沢美文，三井弘文，畑野光男，石田冬子，

保護者代表：中込幹也 (PTA 会長)，塩谷正裕，仲田綾子 (PTA 副会長)

(学校側) 渡辺良仁 (校長)，佐野紳二 (教頭)

* 欠席者 (学校評議員) 清水 勉

I 学校側から提案された内容

- ・学校の概要，学校の教育活動について
- ・学校評価の説明及び過年度との比較及び考察

II 協議された主な内容

①学校評価の結果について

- ・教師用・児童用・保護者用アンケート結果と考察
- ・肯定的な評価の項目及び今後の課題について
- ・地域や家庭での児童の生活実態について

②学校教育に関する事項について

- ・児童の安全確保 (特に不審者への対応) について
- ・子どもたちを取り巻く環境、今日的な課題 (いじめ・不登校・児童虐待) について
- ・児童のあいさつについて
- ・家庭学習と自主勉強について

<学校関係者評価書>

I 全体評価

- ・教職員の自己評価の結果は、全ての項目での平均値がA判定 (平均値3.5以上) となっており、学校経営方針に基づき、教育目標の実現に向けて、教職員の十分な理解のもとに教育活動が行われていると言える。
- ・児童アンケート、保護者アンケートの結果についても、ほとんどの項目で平均値が肯定的評価であるAまたはB判定となっており、全体的にみると学校の教育活動が適正に行われた結果、児童が学校生活を楽しみ・充実していると考えており、保護者からも一定の理解を得られていると考えられる。

- ・「地域におけるあいさつ」「宿題以外の自主学習への取り組み」「授業中の挙手・発言」などの点においては課題も見られ、改善のためのより一層の努力が必要であると考えられる。
- ・アンケートの結果に満足することなく、児童の健全な成長に向けて学校と保護者、地域とが一体となり、「チーム竜王東小」として、相互の連携をより一層図りながら、協力して子どもたちの指導に当たっていく必要がある。

II 特徴

- ・「学校は楽しい」「仲のよい友だちがいる」という質問に対して、肯定的な回答をしている児童・保護者の数が多く、子どもたちが楽しく学校生活を送っている様子が伺える。
- ・児童アンケートでは「授業中に質問や意見を言っていますか」「授業で分からないことがあったら、先生に聞いていますか」「授業中、自分の考えを進んで伝えようとしていますか」といった質問に対する評価がやや低く、自分の考えを積極的に表現することが課題だと考える児童が多い。また、教職員の自己評価を見ても、「質問や意見が出てくる授業を行っている」の評価は他と比較すると若干低く、教職員も課題意識を持っていることが分かる。
- ・宿題に関する評価は、教職員・児童・保護者共にとても高くなっているが、自主学習に対する保護者の評価は低い。家庭での自主学習に対する学校からの児童に対する指導や保護者への働きかけが今後さらに必要であると考えられる。

III 今後の課題として意識されたいこと

- 危機管理マニュアルの整備と児童の安全確保について
 - ・教職員の自己評価を見ると、「危機管理マニュアルを理解している」への評価が他と比較すると若干低くなっている。有事の際に教職員が適切な行動をすることができるような危機管理マニュアルの整備が求められる。また、不審者情報は学校から保護者に素早く伝えられているが、その後の情報がなかなか届かない、地域や下校指導を行っているボランティアへの情報提供が行われていないなど、課題が残る。児童の安全確保のため、学校と保護者、地域が一体となって活動ができるような体制づくりが必要である。
- 地域への情報公開について
 - ・教職員の自己評価や保護者アンケートの結果を見ても、学校から保護者への情報提供は学校だよりやホームページ、授業参観・学校開放日などの機会を通し、適切に行われているようだが、それらを地域の住民が知る機会はまだまだ十分だとは言えない。回覧板を活用するなど、地域への情報公開についても更に力を入れてほしい。
- 自主学習・家庭学習の指導について
 - ・宿題は親も子どもも何に取り組んだらいいかがはっきり分かるが、自主学習は何に取り組ませたらいいかが分からない。学校全体として、家庭学習について保護者への理解を進めるような取り組みが必要である。

○ いじめ・不登校・児童虐待等の問題への対応

- ・最近の報道でも、様々な事案が伝えられており、心を痛めることが多い。個人情報やプライバシーの保護という観点もあり、難しい面も多いと思うが、できる限りこういった問題を解決できるよう、学校と保護者、地域が協力していきたい。児童虐待については学校だけでなく、地域や行政の連携が不可欠であり、連携を深めていく必要がある。

○ 地域でのあいさつについて

- ・不審者対応という面もあり、誰にでも進んであいさつをすればいいという指導は難しくなっているが、知っている人や交通指導・安全指導を行ってくださっている人へのあいさつは、しっかりできるようにしていきたい。日々の登下校時の様子を見てみると、不十分なところもあるようなので、学校と家庭、両方で指導を継続していきたい。

※特記事項 なし

記載責任者（竜王東小学校 学校関係者評価委員） PTA 会長 中込 幹也 印